

■ 牛渡 淳

仙台白百合女子大学学長。1982年3月東北大学大学院博士課程後期三年の課程満期退学。(専攻)教育学。米国カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、仙台白百合女子大学教授、東京学芸大学客員教授等を経て2014年から現職。前日本教育経営学会会長。現在、中央教育審議会教員養成部会臨時委員、日本教育学会理事等。主著『改訂 教育学原論』、『専門職としての校長の力量形成』(共著)、『岩波講座：教育－変革への展望』(共著)。

■ 岡野 啓介

徳山大学学長。1973年 早稲田大学 理工学部卒業、1979年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士(理学)。専攻 高エネルギー物理学理論・情報教育。早稲田大学理工学部・物理学科・助手、西独ジーゲン(Siegen)大学・物理学科・助手を経て、1990年徳山大学助教授、1999年教授、2009年現職。主著『パウリ、物理学と哲学に関する随筆集』(翻訳)、『Stochastic Quantization』(共著)。

■ 田坂 逸朗

広島修道大学人文学部講師ひろしま未来協創センター。1989年福岡大学経済学部卒業。専攻 地域イノベーション、ファシリテーション、ホールシステム・アプローチ。広告代理店勤務、クリエイティブ・ディレクター、マーケティング・プロデューサー、まちづくり協議会勤務を経て、2014年より現職。県立広島大学経営専門職大学院非常勤講師。資源エネルギー庁地域のじまんづくりプロデューサー。主著「地域ファシリテーション論」、「授業『地域イノベーション論』の試みー地域イノベーション教育による社会貢献と教育の統合ー」

■ 加藤 裕久

昭和大学薬学部薬剤情報学講座医薬情報解析学部門教授、在宅チーム医療教育推進室長。1977年昭和大学薬学部生物薬学科卒業。国立がん研究センター中央病院副薬剤部長を歴任。2000年より現職。博士(薬学)。主著『医薬品情報学(第4版)』(共著)、『がん化学療法レジメンハンドブック(改訂第4版)』(共著)、『抗悪性腫瘍剤の院内取扱い指針 抗がん剤調製マニュアル(第3版)』(共著)。

■ 清水 恵美子

茨城大学社会連携センター准教授。2008年お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。専門は比較文化史・美術史。2014年より現職。同大学五浦美術文化研究所所員、いばらきセレクション125選考委員。主要著書として『岡倉天心の比較文化史的研究ーポストンでの活動と芸術思想』、『五浦の岡倉天心と日本美術院』、『いま天心を語る』(共著)。平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)受賞。

■ 伊與田 宗慶

大阪工業大学工学部機械工学科講師。大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。2014年から現職。国際溶接技術者(IWE)。専門分野は接合工学。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。